



医療法人晋真会 ベリタス病院

VERY+NEWS

2019年秋 創刊号

目次

VERY+NEWSの発行について	1
院長のあいさつ	1
毎日の生活にプラスNEWS -高血圧について-	2
シリーズ① ベリタス病院をご紹介します	3
ベリタススタイル -インフルエンザ- -院内トリアージ-	4

◆ VERY+NEWSの発行について

都合により2017年の2月以降、No182号をもって長らく休刊となっていた病院広報誌「ベリタスニュース」が「VERY + NEWS」として改めて年4回発行することになりました。

長年慣れ親しんだベリタスニュースの響きはそのままに、プラス1という想いから新広報誌は「VERY + NEWS」となりました。これからも当院の基本理念である「真心のこもった良質な医療を通して地域医療に貢献します」を実践し、VERY + (足す) ニュースを発信していきます。

◆ 院長のあいさつ

2009年4月1日に院長に就任して10年6か月が過ぎました。この間、社会情勢・医療情勢もめまぐるしく変化しました。地域医療構想が進むなか、急性期病院として何とか病院を維持することができましたのも、地域の皆様のご理解とご協力のおかげと深く感謝しています。

新しく令和の年を迎え、病院広報誌を「VERY+NEWS」として再開することにしました。地域の皆様に院内院外で起きている様々な医療情報を発信し、チーム医療を推進して地域医療に貢献していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。



ベリタス病院 基本理念

●真心のこもった良質な医療を通して地域社会に貢献します

●基本方針

1. 安全で安心な医療を提供します
2. 優秀な医療技術の向上に努めチーム医療を推進します
3. 快適な医療環境を提供します
4. 全職員が誇りをもって働ける環境をつくります
5. 安定した経営を維持し地域と職員に還元します



ベリタス病院は今年で40周年を迎えました。これからも地域社会に貢献し続けます。

◆ 秋の健康管理アドバイス

みなさんは“高血圧”と言われたことがありますか？

高血圧とは安静状態での血圧が慢性的に正常値よりも高い状態をいいます。2019年の日本高血圧学会のガイドライン(指針)では、75歳未満の方で「最大血圧130mmHg以上または最小血圧80mmHg以上のどちらか1つでもあれば、高血圧と診断される」とあります。

では、なぜ高血圧がダメなのでしょう・・・

高血圧になると血管に常に負担(圧力)がかかるため、血管の内壁が傷ついたり、柔軟性がなくなり厚く硬くなったりして、「動脈硬化」を引き起こします。動脈硬化は、全身の動脈に起きてきますが、特に心臓を養っている冠動脈、脳を養う脳動脈、頸動脈や、腎臓に血液を送る腎動脈、さらに下肢の動脈、腹部大動脈などに起きやすくなります。それにより、「脳卒中」「心筋梗塞」「狭心症」「腎臓障害」などが起きやすくなります。もちろん動脈硬化はそれ以外のさまざまな要因(危険因子)でも起きてくるので、喫煙や糖尿病、脂質代謝異常などのコントロールや治療が極めて重要です。

☆日常生活での注意点☆

・気温について

暖かい所から急に寒い所へ出ると、血管が収縮し血圧が上がります。特に冬は室内と外気との差をなるべく小さくするようにしましょう。

夏は冷房が効き過ぎた部屋からそうでない所へ出る時にも血圧を上昇させるので、外気との気温差が5度以上にならないよう気をつけましょう。

・入浴について

入浴も血圧の上昇や下降に関係します。特に冬は、寒い脱衣所で裸になると血圧が上がリ、熱いお風呂に入るとさらに上昇し、お風呂に浸かっていると徐々に下がります。

浴室と脱衣所の気温差がないように温度を調整したり、あまり熱いお湯(42℃以上)に長時間浸からないようにしましょう。血圧のコントロールは非常に重要ですので、日常生活の中で少しずつでも上記のことをふまえて気をつけて過ごして頂けると嬉しいです。



引用：国立循環器病研究センター
心臓病まるごとQ&A ハートナーシング 2011年

シリーズ① ベリタス病院をご紹介します

◆ 令和元年度兵庫県献血功労感謝のつどいでベリタス病院が表彰されました

さる9月5日、兵庫県公館大会議室において「令和元年度兵庫県献血功労感謝のつどい」が開催されました。これは、献血運動並びに造血幹細胞移植推進事業の一層の推進を図るために開催されたもので、永年にわたってこれらの事業の進展に貢献のあった団体及び個人に「兵庫県献血推進協議会」の会長である県知事より感謝状の贈呈および厚生労働大臣表彰、感謝状、日本赤十字社有功賞などが贈呈されるものです。

今回、ベリタス病院は、永年にわたり年2回の献血事業への協力が認められ、厚生労働大臣感謝状被贈呈団体に選ばれました。これも献血に対する皆様のご協力とご理解合つてのことと感謝しております。

次回のベリタス病院での献血は年末ごろを予定しております。その際は、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



表彰されました



◆ 健康フェアを開催しました



令和元年10月6日（日）アステ川西 1階『ぴいぷう広場』にて今年もベリタス病院無料健康フェアを開催致しました。

この『健康フェア』はベリタス病院が毎年、秋に行っている健康イベントで、地域住民の方に健康について考えていただくきっかけとして、またベリタス病院で行っている診療内容を知っていただく為に行っているイベントで、今回は記念すべき

第10回目を迎える事となりました。

イベントの内容として簡易測定コーナーでは骨密度測定、肺年齢測定、体力測定、健康バランスチェック、病院の紹介については、医療講演会や診療内容紹介のパネル展示を実施させていただきました。

医療講演会では、午前11時より脳神経外科 徳田医師による『脳卒中の予防について』午後2時より健康管理科 寺前医師による『人生100年時代を生きる』というテーマで、2回の講演会を行い、質疑応答を含め約1時間、聴講者の方は熱心に聴いていただきました。

その他、看護師、薬剤師による相談コーナーやちびっ子向けに設けた子供コーナーで、バルーンアートや輪投げ等、子供さんにも楽しんでいただき、たくさんの方に来場していただきました。今回の開催にあたり、お忙しい中、足をお運びいただきました皆様にお礼を申し上げます。



たくさんの皆様にご来場いただき、ありがとうございます。



◆ インフルエンザについて

兵庫県感染症発生動向調査週報によると、11月7日時点で県内の流行はみられません。ただ、医療現場では日を追う毎にインフルエンザを発症する人は増えています。

インフルエンザは、感染している人の咳やくしゃみで出るしぶきを吸い込む場合（飛沫感染）と、感染している人のつばや鼻水が手から手へ、あるいはドアノブやつり革などを介して手に付着することなどによる場合（接触感染）で感染します。インフルエンザを予防する有効な方法としては、以下の5つが代表的です。

- ①流行前のワクチンの接種
- ②手洗い（外出後や食事摂取前など）
- ③適度な湿度の保持（50～60％）
- ④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤インフルエンザの流行期は人混みや繁華街への外出を控えること。

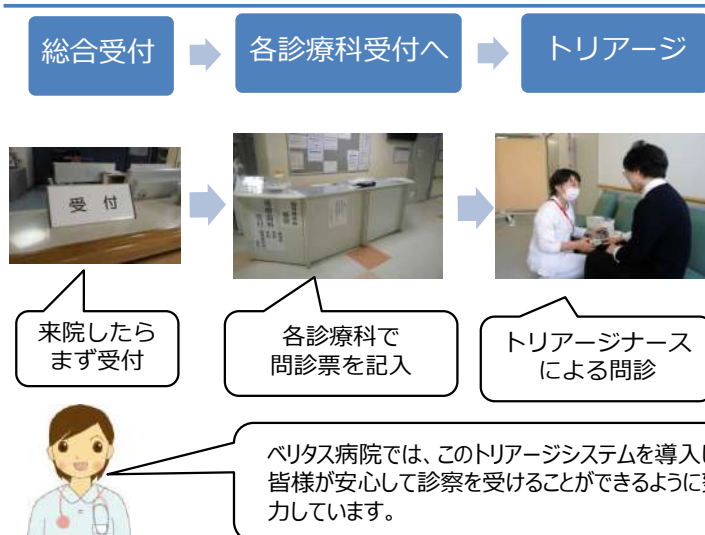
予防対策をしても、感染することはあります。感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診を心がけて下さい。



◆ 院内トリアージを行っております

当院では、外来受診に来られた患者様が、診察や検査までを安全にお待ちいただけるよう「院内トリアージ」を実施しています。『トリアージ』とは、患者様の重症度や緊急性から診察・治療の優先順位を判断することを目的としています。当院では初診の患者様を対象に、医師の診察を受ける前にトリアージ担当看護師による問診を受けていただいております。診察までの時間を安全にお待ちいただけるようになっておりますので、ご理解、ご協力をいただきますようお願い致します。

院内トリアージの流れ



医療法人 晋真会 ベリタス病院

〒666-0125 川西市新田1丁目2番23号

TEL: (072) 793-7890 FAX: (072) 792-5771

発行者 ベリタス病院広報委員会

ホームページもご覧ください

<http://www.shinshinkai.jp/>